

ハト

Ryukyu green pigeon / *Treron formosae* / Zuaka-aohato / ズアカアオバト

ズアカアオバトは奄美大島に生息するハトの 4 種のうちの 1 つで、日本南部の島の固有種であり、日本で唯一の固有種のハトである。一時期はタイワンズアカアオバトの亜種とされていたが、今では別種であることがわかった。体長は大きく、33～35cm で、全体的に深い緑で翼は濃い茶色。日本では哀愁を帯びた声が尺八と似ているため、シャクハチバトとも呼ばれる。また、クチブエズアカアオバトとも呼ばれる。

Japanese wood pigeon / *Columba janthina* / Karasubato / カラスバト

奄美大島に生息するハトの中でも最も大きく、黒い絶滅危惧種で、体長 37～43cm で、全身と頭部は黒く、頭部や胸、翼にメタリックな紫や緑がある。主に広葉樹林に生息し、種子や木の実を食べる。奄美大島の他の鳥とは異なり、冬に繁殖する。低い鳴き声は、現地の言葉では「ウシバト」と呼ばれる事もある。